

なんかい、104号

2016年11月1日発行

南海寮 広報委員会
熊本県天草市本町下河内1685番地の1
TEL 0969-23-3850
FAX 0969-22-4977
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp
URL http://www.nankairyou.or.jp/

ハロウィンの壁紙、利用者さん全員の顔写真入りです！



虐待防止法施行から 4年、虐待をしない、 させないための取組み

平成24年10月に虐待防止法が施行され4年が経ちます。世間では下関の虐待事件や相模原の福祉施設襲撃事件など衝撃的な報道に心を痛め、また施設に対する世間の目も厳しくなってきたと感じます。当施設でも虐待防止に関する施設内研修を年4回実施し、虐待についての勉強を行っております。利用者アンケートや、職員へのサービスレベルアンケートを実施し、虐待防止に対する意識を高め、虐待を起さない為には、職員同士が声を掛け合えるような環境作りや、利用者への対応が虐待と取られかねないかなどチェックし、意見交換も行っております。職員間で虐待を起さない、起させない環境を作る為の取組みとして、毎朝礼時に「行動規範」を唱和し、倫理意識の徹底に努めています。人権倫理委員会でも虐待防止への取り組みとしてアンケートの実施や施設内研修

等について話し合い、よりよい研修会を実施出来るよう取り組んでいます。

さて、今回新たな取り組みとしてご家族の思いや意見・要望などをお聞きしたいと思い、アンケートを実施させていただきました。10月16日の面会日では虐待防止についての研修会を開催し、虐待防止法についての説明や事例紹介、当施設の虐待防止への取り組みについて発表し、ご家族にお伺いしたアンケートの結果や意見への回答もお知らせさせていただきました。有意義な時間が過ごせたのではないかと感じました。今後も、虐待を起さない、起させないためには、職員一人一人が虐待について考え、利用者の方々が明るく楽しい生活が送れるよう施設内研修や外部研修への参加を積極的に行い自己研鑽に努めて行かなければならないと思えました。

唐津伸康



小さいながらも一つの力に、 地域における私たちの役割

支援員 大仁田美穂

9月上旬、北海道札幌市での3日間の研修。このころ道北地域は台風で大きな被害を受け、自宅や事業所が大変な状況となっている大会スタッフの方もいらっしやる中での開催と聞き、ありがたい気持ちと、不自由なく参加できる事に感謝をしながら、皆さんの一生懸命な気持ちに応える為にも精一杯学ぼうと思いだ初日でした。

大会はミュージカル調のアトラクションが始まり、子どもさんから成人までの総勢60名程の利用者さん、スタッフの皆さんの発表で、自信满满で大変楽しそうな表情が印象的でした。

今大会のテーマは、「次なる時代を築こう」〜明日に向かって〜とあり、障害者権利条約を批准した今日、私達はこれからどう考えて、どう行動する事が必要なのか、と言う事を考える機会となりました。障害者権利条約では、「誰でも意思決定能力があり、地域生活や移行支援が可能」とあります。意思決定能力について、言葉やジェスチャーで伝える事が難しい方もいらっし

やる中で、好きな事は何か？この表情はどんな事？とその人の思いを知りたいと言う気持ちを持って関わり、工夫して行く事が大切。また地域生活については、障がいへの偏見や差別を除去する為にまず、地域に一步踏み出し、皆さんを知ってもらう機会を設ける事が大切との話があり、一番身近で関わる事の出来る私達だからこそ、地域の方に障がいに対して良い印象を持つてもらえる様な関係作りの手伝いをしなければいけないと感じました。

今後とも制度の見直しを経て、様々なサービスができ、良い面や難しい面を感じる事と思いますが、変わらず言えるのは、その人の思いを知ろうとする気持ちや実現に向けて工夫する行動力、誰が見ても聞いてもその人を思っていると感じる事のできる言葉かけや関わりが大切だと言う事を再認識した研修会でした。

今年7月末に起きた悲しい事件についてどうして？という気持ちでいっぱいですが私たちが地域に出て、皆さんと自然に接する様子を子ども達が見聞きし、それが当たり前となれば、偏った考えを持つ人を作らない事への小さいながらも一つの力になるのかもしれないと感じています。

相談支援専門員として、地域における セーフティネットとしての機能

相談支援専門員 松本かおり

平成27年3月に発足された熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会も2年目を迎えました。当初の開催予定時期に熊本地震が発生し9月の開催となりました。

この連絡協議会では地域ブロックを基本とした組織体制作り及び活動が促進されています。事業報告では、県北・県央・県南・熊本市の4つのブロックにおいて運営会議や研修会が実施され、相談支援専門員同士の交流を図ると共に、各地域ブロックの組織体制づくりを進める事ができたと報告がありました。地域ブロックの連絡協議会においては、研修会を通して相談員としての資質の向上と、交流、情報交換が図れ、刺激を受けたり、助言を頂いたり、相互に協力を得る絶好の機会となっています。

熊本地震における支援活動報告やパネルディスカッションでは、相談員自身が被災しながらも戸別訪問を行い、必要とされるニーズの掘り起こし、住まいの場の確保、住み慣れた場所を離れる事による不安に対する支援や居住地移転によるサービス利用

の手続き、サービス提供先の確保、現在の状況等の支援報告がありました。実際、自分と同じ境遇になった際には、どれぐらいニーズを見つける事ができて、動く事ができるのだろうかと不安を感じました。私自身も、戸別訪問調査に同じ圏域の相談員さんと一緒に、参加させて頂きました。住所から自宅を探す事から始まり、土地勘もなく、同じ場所を何度も行き来し、地域の方々の協力を得ながら場所を探し、調査をさせて頂きましたが、面接時の雰囲気作りや情報を収集する事の難しさ、自身の知識不足を感じざるをえませんでした。地震にわれ大変ながらも関係者や地域の皆様から暖かく対応して頂き、自分自身がパワーを頂く事もありました。今後の業務にあたり相手の立場に配慮した関わり、連携体制が取れるようなコミュニケーション作り、情報の共有を常に念頭に置き、相談支援専門員として自分ができる事から取り組み、スキルアップの向上や信頼される人となるように今後も協議会に参加しながら頑張っていきたいと思えます。

まだまだ住む場所も安定せず、不安な日々を過ごされている方がいらっしやると思えます。1日でも早い復興を心からお祈り致します。

安全衛生委員会発足

今年度7月、安全衛生委員会が発足。

「安全衛生委員会」とは？：

労働安全衛生法等により、従業員が50人以上の事業所においては安全衛生を確保するための措置（安全衛生管理体制）が義務付けられています。安全衛生を確実なものとするためには、事業者が一方的に制度を設けるだけでは不十分であり、従業員が安全衛生に十分に関心を持ち、その意見が事業者の行う安全衛生に関する措置に反映される必要があります、その目的で委員会の設置規定が定められています。

当施設も職員数が50人を超えたことを受け、この度発足することとなりました。労働安全衛生法等の規程により、委員会は、委員長（施設長）、副委員長（統括部長）産業医（酒井正俊医師）衛生管理者、看護師、管理栄養士、職員代表の計7名で構成し、その内容は：

- ① 職員の健康障害を防止するための基本対策
- ② 職員の身体的健康の保持増進をはかるための基本対策
- ③ 職員の精神的健康の保持増進を図るための基本対策
- ④ 健康診断実施後の医師の意見をもとに講

すべき必要な対策

⑤ その他安全衛生にかかわる事項等について検討します。

実際には、全職員の健康



診断や夜勤従事者健康診断結果を受け、二次検診受診者には健康に関するアドバイスを行う他、ストレスチェックを実施し、ストレスの軽減や業務改善を行ったりする等の対策を行っています。また介護現場での職業病とも言われている「腰痛」に関して、今後腰痛検診の実施を予定しており、重症化を防止するとともに、日常の介護、介助時の腰痛防止の為ボディメカニクス（利用者さんにも介護者にも負担のかからない介護技術）の導入を検討しています。その他、感染症予防のための対策や、利用者を含めたところで、建物内外の危険箇所を点検し早期対応、事故防止に努めていく等々委員全員で取り組んでいきたいと思えます。全職員が心身ともに健康で明るく業務に取り組むことが出来れば、当施設を利用して頂いている利用者さんの安全を確保し、安心して生活を送って頂くことに繋がりますので、職員の心身の健康に関し一緒に考えサポートしていきたいと思えます。

衛生管理者 倉田美晴

天草地区施設合同職種別部会

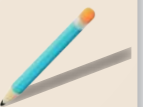
看護師・栄養士情報交換会

天草地区では、同地区の施設（9施設）の職員が集まり、定期的に合同研修会や職種別の情報交換会を実施しています。

今回は、各施設の看護師・栄養士が一同に会し、各施設が抱える現状の課題や疑問点等を持ち寄り、意見情報交換を行いました。

■看護師部会

日頃より他の施設ではどのような事を行われているか興味はありましたが、なかなか同じ職種の交流がなく、他の施設の取り組み等を知る機会が少なかつたのが現状としてありました。今回天草地区の看護師意見交換会へ参加し、他施設との意見交換で、南海寮では行なっていない事を他の施設で取り組まれている事を報告し、お互いに今後取り入れていきたいらいいと思う事が多々あり、とても良い意見交換が出来たと思えました。今後も利用



者の方が施設で元気に過ごして頂く為に今回の意見交換会を継続して行って欲しいと感じました。

看護師 中野一文

■栄養士部会

障害者施設における集団給食の意義と在り方とは…。日々一人で考え、孤独になりがちな職種である栄養士。栄養士意見交換会は、そんな私たちの日常の疑問と悩みに解決策を与えてくれる場となりました。テーマとして、災害時の備蓄について、熱中症予防対策、障害者特有の咀嚼や嚥下の問題、食事拒否の方への対応、栄養ケアマネージメントの実際などがありました。中でも特に4月に起きた熊本地震の教訓から、災害時にはどのような対応をするべきか、食材の備蓄状況や献立内容について活発な意見がでていました。今後、この研修会が今後も続けられ、栄養士同士の情報交換、繋がりが密となり、相互のレベルアップにつなげていければと思えました。

管理栄養士 田中佳子

※咀嚼・嚥下：食物を口に入れ、噛んで飲み込み、胃には「ぶまで」の「摂食」の一連の動作。

夕涼み会（8月）



天草一泊旅行（9月）



施設親善スポーツ大会 (10月)



利用者セミナー (9月)



ドライブ (9月)



地震等大規模災害時訓練 (10月)



ハロウィン (10月)



ご家族面談会 (10月)



天草一泊旅行 (10月)

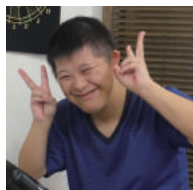




がんばったで賞

毎月「なにかひとつ頑張った」ことを表彰している「がんばったで賞」
今回は平成28年8月から平成28年10月に受賞された皆さんです。

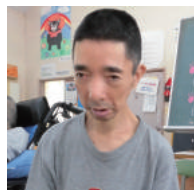
8月 (Aug)



岩崎康暢さん
トレーニングバイクを
がんばりました



大久保千代子さん
体調を崩さず元気に
過ごすことができました



松下春雄さん
作業をがんばりました



三浦保幸さん
ごはんを残さず食べる
ことができました



森田裕子さん
洗濯をがんばりました

9月 (Sep)



上山善信さん
農作業をがんばりま
した



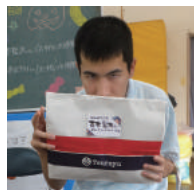
佐々木すみみさん
手伝いをがんばりま
した



丸木剛志さん
食後の台拭きをがんば
りました

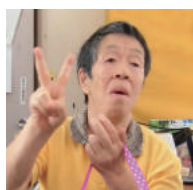


森知香さん
ビーズ通しをがんばり
ました



吉本堅太さん
手伝いをがんばりま
した

10月 (Oct)



川端ふさ子さん
紙千切りをがんばりま
した



新美壽穂さん
木工作業をがんばりま
した



中村富美子さん
手伝いをがんばりま
した



濱本崇浩さん
歩行をがんばりました



原田久光さん
毎朝、口腔体操&スクワ
ットをがんばりました

施設実習レポート

【尚綱短期大学】

施設実習を通して、障がいについて勉強する事が出来ました。利用者の方に合う援助をしなければいけないという事を学び、また全てを援助するのではなく、自分でしてもらうように声を掛ける事も知りました。そして、観察だけでなく実際に援助させて頂き、声を掛けながら援助する事の難しさも分かりました。初めての施設実習では、たくさんの方の事を学び、充実した2週間でした。この実習で体験・経験した事を次の実習やこれからの生活に活かしていきたいと思いました。(鶴戸伽帆)

最初は、利用者の方への対応など分からない事がたくさんあり、不安でいっぱいでした。その中で、職員の方のご指導や動きを見て少しずつ理解しながら、コミュニケーションも増えていきました。また、利用者の方々もたくさん声を掛けて下さり、本当に嬉しかったです。学ぶ事もたくさんあり、利用者の方ひとりひとりに合う食事や歯磨きなど援助の仕方を見る事が出来ました。利用者の方が不快にならないよう、気持ちを考えながら援助していくのは難しいと感じました。この実習で、たくさんの方の事を経験する事が出来たので、これからは活かしていきたいと思っています。(有江望美)

通所センターだより



暑かった夏が終わり、日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて今回センターでも皆さんに秋を感じて貰おうと芋の収穫とガネ揚げ作りを行いました。

芋づるを6月頃に植え、4ヶ月後には試し掘りして大きくなった芋が確認出来たので数名の方に収穫をお願いしました。芋を傷つけないように丁寧に土をどけながら段々と見える芋の姿に期待を膨らませて、いざ引っ張ってみると芋づるにいくつも連なっていた為、初めて収穫された方は手に取った芋を見て一瞬驚きの表情が見られましたが、直ぐに収穫した喜びの表情へと変わり写真撮影

にも笑顔で応じて下さいました。収穫した芋はコンテナ一杯の量になり早速ガネ揚げにして頂くことにしました。出来上がったガネ揚げを職員も一緒に頂き、皆さんで秋の味覚を感じ、中にはつつい食べ過ぎて食欲の秋も同時に体験された方もいたように思います。

1年はあっという間に過ぎていきます。四季折々の景色を楽しむのももちろん、その時々旬の食材を食し四季を感じて頂けたらとの思いで今回実施しました。今後も皆さんに四季を感じてもらえるような体験型活動を提供していきたいと思っています。

松浦 徳彦

職員研修会等参加報告

- | | |
|---------------------------|--------|
| ■ 初任者キャリアアップ研修 (8月23・24日) | 小川明 |
| ■ 改正社会福祉法セミナー (8月30日) | 松浦他 |
| ■ スーパーバイザー研修 (9月6・7日) | 石原 |
| ■ 発達障がい講演会 (9月10日) | 坂本、田中他 |
| ■ 全国経営者大会 (9月14・15日) | 中嶋他 |
| ■ リスクマネジメント研修 (10月25・26日) | 櫻井 |
| ■ 労務管理研修 (10月19日) | 佐藤 |

今後の予定

- 11月1日 衣類購入 (ひらやま衣料品店)
- 11月13日 愛藍びっく
- 11月23日 本町・ふるさとまつり
- 12月 餅つき忘年会
- 1月 どんどや

編集後記

本紙5ページ目でも少しご紹介させていただきましたが、10月30日がハロウィンという事もあり、色々な衣装をして写真撮影を行いました。ここ数年、日本でも熱狂的なイベントになっているハロウィン。定番の魔女やゾンビ、人気のキャラクターに扮して一足早く仮装パーティーで盛り上がりました!

話は変わりますが、今年もあと少しで年末がやってきますね。1年間、何気ない日々や様々な行事を利用者の方と共に歩んでこられたのはご家族の方の理解や地域の方のご協力があったからです。少し早いですが1年間ありがとうございました。今後も利用者の方の元気と笑顔をお届けしていきたいと思ひます。

hikaru

給食室の窓辺から

季節も残暑厳しい夏から実りの秋へと移り変わり、秋の味覚を前に献立に何をいれようか、「栗やさつまいも、柿もいいなあ」、いやいや松茸風味のお吸物はどうかしら、きのこご飯も美味しそう...」などと南海寮の献立を日々考えつつ、食欲の秋に悩まされている毎日です。

南海寮では旬の食材を献立に取り入れる事で、単調になりがちな寮での生活に季節の彩りを感じてもらえればと思ひています。

また、今年度より栄養ケアマネージメントにも取り組み、栄養状態の把握と改善にも配慮し予防医療の考えを基本に栄養管理を行っております。南海寮でも高齢化や機能低下により必要な栄養量を摂取できない方もおられますが、そのような方には蛋白質やビタミン類を強化してあるゼリーやふりかけを提供しています。そんな中、給食室の窓から聞こえる「今晚のごはんは何?」「バイキングはいつ?」など食事を楽しみにして下さっている声に癒えようと、汗

新規入所者紹介



北尾 開さん
(平成28年9月1日入所)



を流して100人分の魚を揚げ、肉を炒め、野菜を切り創意工夫しながら頑張っている給食室一同です。

管理栄養士 田中佳子